

厚生労働行政推進調査事業費補助金（エイズ対策政策研究事業）

分担研究報告書

HIV/HCV 重複感染者に対する外科診療、手術療法の検討

研究分担者 曾山 明彦

長崎大学大学院 先端技術展開外科学 准教授

研究要旨 本研究班の目的は、薬害である「血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者」について、外科治療の安全性を検証・確立し、標準化することである。研究期間内に、令和 5 年度までに前指定研究班で作成した「血友病・HIV/HCV 重複感染患者に対する外科診療ガイド 2024」の有用性を検証するために、令和 6 年度においては 1. ブロック拠点病院に対するアンケート調査、2. 実施例に関する症例検討を行った。過去 5 年間の全国のブロック拠点での全身麻酔下での胸腹部臓器の手術実施数が明らかとなった。今回のアンケートによると症例数は限られているため、現在、班会議で行っている症例検討も含めて、各実施例の詳細を丁寧にまとめ、記述的な検討を行うことも重要なエビデンスになると考えている。

A. 研究目的

本研究班の目的は、薬害である「血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者」について、外科治療の安全性を検証・確立し、標準化することである。令和 5 年度までに前指定研究班で作成した「血友病・HIV/HCV 重複感染患者に対する外科診療ガイド 2024」の有用性を検証するために、実態調査、症例検討を行った。

B. 研究方法

重複感染者（血友病）における外科診療ガイドの実効性について検討するために、以下の 2 つの検討を行った。

1. ブロック拠点病院に対するアンケート調査の実施: 過去 5 年間に実施した手術について、心臓・大血管領域、呼吸器領域、消化器官領域の症例数、肝胆膵領域の症例数、その他の領域の症例数について調査した。

2. 班会議の際に、研究分担医師の所属施設での外科治療実施例について呈示していただき、個別の症例検討を行った。

C. 研究結果

1. アンケート調査: ブロック拠点病院より過去 5 年間の手術症例アンケートを行った結果、全身麻酔下体表以外の手術が 29 件施行されていた。

そのうち、心臓・大血管 4 件、呼吸器 0 件、消化管 1 件、肝胆膵 7 件であった。

2. 班会議で呈示された症例の検討により、肝臓手術などの高難度手術も安全に行われていることが明らかとなった。今後も引き続き、班会議において実施例についての症例検討を行いながら、詳細なデータを収集していくこととした。

D. 考察

過去 5 年間の全国のブロック拠点での全身麻酔下での胸腹部臓器の手術実施数が明らかとなった。今回のアンケートによると症例数は限られているため、現在、班会議で行っている症例検討も含めて、各実施例の詳細を丁寧にまとめ、記述的な検討を行うことも重要なエビデンスになると考える。

E. 結論

アンケート結果により、一定数の全身麻酔手術が行われていること、また症例検討により肝臓手術などの高難度手術も安全に行われていることが明らかとなった。重複感染者（血友病）における外科診療ガイドの実効性を明らかにするためには、個別の症例をより深く検討し、当該患者群における課題となる点を明らかにすることにつながると思われる。

今後さらに対象を拡大して、より詳細なデータを収集していくこととした。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1: Matsushima H, Soyama A, Hara T, Hamada T, Kawaguchi Y, Migita K, Satoh A, Mampei Y, Imamura H, Kinoshita A, Adachi T, Eguchi S. Living Donor Liver Transplantation with Small Left Lobe Grafts: Prospective Validation of Utility of Splenectomy in Selected Recipients. *Ann Transplant.* 2025 Jan 14;30:e946374.

2: Hara T, Sato A, Soyama A, Matsushima H, Hamada T, Imamura H, Kinoshita A, Migita K, Kawaguchi Y, Adachi T, Hara T, Endo T, Eguchi S. Living Donor Liver Transplantation Using Right Posterior Section Graft in a Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis C Virus-Coinfected Patient With Hemophilia: A Case Report. *Transplant Proc.* 2025 Jan-Feb;57(1):122-125.

3: Hara T, Soyama A, Matsushima H, Hamada T, Kinoshita A, Imamura H, Yamashita M, Satoh A, Migita K, Kawaguchi Y, Adachi T, Takatsuki M, Eguchi S. Arterial Reconstruction Using the Right Gastroepiploic Artery in Living Donor Liver Transplantation: A Single-Center Experience. *Ann Transplant.* 2025 Jan 7;30:e946135.

4: Askeyev B, Soyama A, Matsushima H, Hara T, Nagakawa K, Imamura H,

Yamashita M, Adachi T, Eguchi S. Real-Time Depiction of Intrahepatic Biliary Anatomy During Recipient Surgery with Contrast-Enhanced Ultrasonography in Living-Donor Liver Transplantation. *Am J Case Rep.* 2024 Nov 19;25:e945859.

5: Soyama A, Askeyev B, Hara T, Matsushima H, Adachi T, Eguchi S. Consecutive disruption of intrahepatic bile ducts after ABO-incompatible living-donor re-liver transplantation: A case report. *Int J Surg Case Rep.* 2024 Dec;125:110606.

6: Takahashi K, Ozawa E, Miyaaki H, Hara T, Soyama A, Hidaka M, Eguchi S, Nakao K. Fully-Covered Self-Expandable Metal Stent for Hepaticojejunostomy Anastomotic Stricture After Living Donor Liver Transplantation: A Case Series. *Transplant Proc.* 2024 Sep;56(7):1593-1597.

7: Hara T, Soyama A, Matsushima H, Imamura H, Yamashita M, Ishizaki H, Yano R, Matsumoto S, Ichinomiya T, Higashijima U, Sekino M, Fukumoto M, Migita K, Kawaguchi Y, Adachi T, Hara T, Eguchi S. Open Abdominal Management for Damage Control in Liver Transplantation: A Single-center Experience. *Transplant Direct.* 2024 Aug 19;10(9):e1702.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし